

編集後記

今年も春がめぐってきました。春の訪れは、何故だか分らない心のときめきをいつも伴っています。今年ばかりはいささか淋しさを感じざるをえません。それは、愛知大学、また文学会に対し、創立、発会以来、多大の貢献をされた山崎知二、若山尚 両先生が今春をもって御退職になられるからです。予め承知していたことはいえ、いざ現実には春を迎えると、感慨無量となります。だが、両先生は去られても、両先生が示された学問に対する厳しさと情熱は、愛知大学、また文学会の中にいつまでもとどまるでしょう。あらためて両先生に感謝の意を表したいと思います。

本号では、両先生の御退職を記念して、従来とは多少異なる編集を行いました。両先生の今後の御健康を祈りつつ、文学論叢第六十九号をお届けいたします。

昭和五十七年三月十五日印刷
昭和五十七年三月二十日発行
(非売品)

編 者 愛 知 大 学 文 学 会

代 表 者 牧 野 由 朗

印刷所 豊橋市町畑町
キリスト教印刷株式会社

発行所 豊橋市町畑町
愛 知 大 学 文 学 会

振替 名古屋 三一四五六五四